

## 町立辰野病院運営委員会会議録

日時 令和5年8月17日(木) 15:00~16:50

場所 町立辰野病院 講堂

【出席者】(委員) 舟橋秀仁 小林テル子 金子文武 古村慎二 赤沼則光 山田弘司  
村上順彦(代理)

武居町長 漆原院長 桑原事務長 椎名外来師長 春日事務長補佐  
今福経営コーディネーター 中村庶務係長

【欠席者】(委員) 佐々木希典 松澤恩

進行 15:00 桑原事務長

### 1. 開会

お疲れ様です。お忙しいところお集まりいただきまして大変ありがとうございます。只今より町立辰野病院の運営委員会を開催いたします。協議事項までは私の方で進行させていただきます。それでは最初に武居町長からご挨拶をお願いいたします。

### 2. あいさつ

(武居町長)

今回ご出席申し上げました。皆さん、本当にお忙しいところご出席いただきありがとうございます。皆さんのお力をお借りしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

5月に5類引き下げになり、数日前の東信・北信で町村長会議が67名であったが、全員の町村長が感染してしたが今は全く報道されなかった。

感染対策につきましては、皆さんに本当に感染リスクの高い中、日々奮闘していただきましたことに本当に心から感謝申し上げます。また、町民の皆さんを守るために、町の医師会・歯科医師会皆さん、薬剤師会の皆さん、本当にいろいろな関係の皆さんには協力して防いでいただこうと本当に感謝のおかげで私は知っております。完全にコロナは無くなっておりませんが、まだまだ気をつけながら生活しなければならないという認識でいたいと思っております。本日の委員会については現状の病院の状況等をご説明いただきながら、委員の皆さんに信頼される病院づくりのためにぜひ皆様方のお力ご意見をお借りしたいと思います。

よろしく、どうぞお願いします。

(桑原事務長)

続きまして漆原院長をお願いいたします。

(漆原院長)

皆さん、本日はお忙しい中、また暑い中、今日久しぶりに運営委員会にご参加いただきまして本当にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症も2例から5例感染症に移行して既に3ヶ月を経過しましたが、長野県ではいまだ増加傾向でありまして、病院や医療、介護施設等ではまだまだ油断できない状況が続いているかと思えます。発熱外ではもちろん感染者の救急の要請にもついて行っておりまして、この地域の基幹病院としての責務を果たすべく各委員一同協力して取り組んでおります。また、昨年度令和4年度の当委員の経常収支につきましては5,700万7千円余りの黒字決算案をここにお示しすることとなりました。これも一重に辰野町並びに各委員のご支援ご協力によるところが大きく感じられます。それに加えて、病床利用率の高い水準での維持や新型コロナウイルス重点医療機関としての入院患者の受入れ等とワクチン集団接種の継続など、当院職員のいろいろな努力の結果とも評価しております。

そして今後も、さらに地域の方々に安心して喜んでいただける医療を提供し、親しまれる町立病院としてより良いご運営を目指してまいりたいと考えております。

そのためにも本日の会合が地域の皆様のために、そして当院のためにつながることを切実に願っております。それではよろしくお願い申し上げます。

(桑原事務長)

ありがとうございました。

それでは今年度委員の変更がございましたので、委嘱書の交付の方を行いたいと思います。交付につきましては代表者の方、お一人の方をお送りさせていただき、各委員の皆様方の机の上に、委嘱書をお付かせいただきましたので、ご了承いただければ、と思います。

では代表者しまして山田弘司様お願いいたします。

### 3. 委嘱書交付

町長より代表して山田弘司さんへ委嘱書受け渡し

(事務長)

ありがとうございました委員の皆様任期は、令和5年8月1日から令和9年7月31日までの2年間となりますので、どうぞよろしく願いいたします。また、本日辰野町薬剤師会会長の佐々木希典様、また識見者の松澤恩様から欠席の連絡をいただいておりますのでご報告いたします。

それではここで自己紹介をお願いしたいと思いますので、舟橋様より順番へお願いいたします。

～自己紹介～

(舟橋委員より順番で)

(桑原事務長)

はいありがとうございました。

続きまして今期初めての委員会になりますので、正副委員長の選出を行いたいと思います。どのようにしたらよろしいでしょうか、こちらの事務局案でよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

(拍手 全会一致で決定)

それでは、委員長に金子文武さん、副委員長に山田弘司さんをお願いしたいと思います。がよろしいでしょうか、ありがとうございます。

それでは金子委員長、山田副委員長、次の移動の方をお願いしたいと思います、

(金子委員長)

ただいま委員長ということで選出をいただきました金子文武と申します。これまで振り返ってみますと、果たしてこのような格好でよかったのかなど、そんな不安を覚えながら委員長という職を受けさせていただきました。

この後も更に不安が残りますけれども山田副委員長と代表としてまた委員の皆さんにもアドバイスを頂戴しながら、この任期を全うしてまいりたいと思いますので、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

(山田副委員長)

副委員長に任命されました山田弘司です。病院の方には関心はありましたが、運営というものには関心はありませんでした。だけど、病院の運営というのは本当に難しいじゃないかと思います。相手があつてないようなものが病院だと思います。それを運営するというのはトップに立つ人が大変じゃないかと思いますけれど、できるだけ委員長と協力しながら頑張っていきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

## 6. 病院長からの経過報告

(桑原事務長)

続きまして病院長からの報告事項になります。

漆原院長よろしく申し上げます。

(漆原院長)

すみません。ここからは着座にて失礼申し上げます。

特に私から配付資料はございませんので、そのままお聞きいただければと思います。前回の運営委員会の開催が本年 2 月でありまして、それから今年度に入りまして現在までの主

な出来事を簡単にご説明したいと思います。

まず、診療などについてですが、4月からは同じく内科の北條伸子医師と増田一摩医師の2名が着任いたしました。続きまして、新型コロナに関連して、ワクチン接種については、引き続き当院での集団接種を継続しておりまして、来月の下旬から秋期接種が開始となる予定で病院としても総力を挙げて取り組んでまいりたいと思っております。

それから3つ目として、令和6年4月から医師の働き方改革がスタートいたします。医師の時間外労働時間の上限規制が法制化されて現場に適用されます。宿日直許可がないと信大などの外部からの職員の派遣も難しくなる側面が重要な課題でありましたが今年の3月に宿日直許可を取得できました。これによって今後の当院の常勤医師、それから外部からの派遣医師の確保が問題なくできるのではないかと期待をしております。

それから新型コロナのために2~3年続けて開催ができなかった病院祭ですが、新型コロナ5類移行と、他の病院でも開催する向きがあることなどにより、感染対策を実施しながら、従来と同じ規模の開催を予定して準備を進めています。地域の方々との交流を深めるまたとないチャンスですので、皆様に喜んでいただけ、辰野病院をより身近に考えていただける有意義なイベントにしたいと考えております。

私からの報告は、以上になります。

(桑原事務長)

はいありがとうございました。

これより協議事項に入りますので、ここからの進行につきましては、金子委員長お願いいたします。

## 7. 協議事項

### (1) 令和4年度町立辰野病院事業決算について

(金子委員長)

それでは進行してまいりたいと思います。

はいそれでは協議事項に入りたいと思います。

まず(1)令和4年度町立辰野病院事業会計決算につきまして、事務局説明をお願いいたします。

(桑原事務長)

はい、それでは決算概要について説明させていただきます。

着座にて説明いたします。

(概要：桑原事務長)

資料 No.1「令和4年度 町立辰野病院事業会計決算書」P6 読み上げ

以上、概要を申し上げましたので、詳細につきましては担当より説明いたします。

(中村係長)

資料 No.1「令和4年度 町立辰野病院事業会計決算書」(案)について説明

(金子委員長)

はいそれでは委員の皆さんからご意見ご質問を頂戴してと思います。

(古村委員)

訪問看護事業について聞きたいのですが、事業拡大したから収入が増えるのではないかという気がするんですけど、(なぜ赤字か)少し説明をお願いできますか。

(中村係長)

訪問看護事業につきましては、看護師のみの経費を費用計上していましたが、事業を拡大したことによって事務職員や訪問リハビリ等に係る職員についても増加したので、人件費として費用を訪問看護事業に計上するようになりました。今年度はそれ(赤字)が明確になったというようなところでございます。

(古村委員)

訪問看護の方は、余裕といたしますか、今の現状で一杯一杯な感じでそういう状況なのか、もう少し余裕があって結果的に受け入れていきたいという状況なのか、というところを教えてくださいたいと思います。

(漆原院長)

基本的には、患者を増やそうということやってきており当面についてはある程度余裕があると思います。ただ、コロナに対する対応で、訪問の数がそれほどいけなかったり時間が取られたりとか、スタッフが感染したり、稼働できなかったり、コロナがある程度落ち着けばまだ余裕があるというのが院内での感触です。診療や介護の先生方も必要であればご助言いただければと思います。

(今福経営コーディネーター)

訪問看護に関しては波が非常にあります。サイクル的には大体90人前後くらいは利用者さんがいるのでぜひご紹介いただければと思います。

(金子委員長)

はい、それではその他の方どうですか、

ちょっと前提をお聞かせください。辰野病院はワクチン接種の会場として使用されてい

るが会場費用の関係、人件費の関係、それらの費用についてはどこに入ってきていますか、

(中村係長)

ワクチン接種につきましては接種費用、町から病院の会場使用料、ワクチン接種にかかる物品の補填をいただいております。以前はワクチン接種にかかる人件費分について国庫補助で支給がありましたけれども、現状はない状況でございます。

(金子委員長)

そうしますと秋季接種も始まりますよね。その段階でやっぱり収入にもなるという解釈していいですか。

(中村係長)

当院では収入の大きい部分になるかなと思います。

(金子委員長)

はいありがとうございました。

それでは他にありますでしょうか。村上さん

(村上委員)

はい。辰野病院がこの立地にあるということによるメリットとデメリットはどうなるでしょうか。要するに立地的にここにあると来る患者さんがすごく限られているような気がするが患者さんの地域配分はどうなっているのでしょうか。

(漆原院長)

来院者の地域性については、ここ何年かについて変化はないと思います。旧病院の位置からちょっと離れて、町内の南の方にはちょっと利用しにくくなっているかなと考えられます。あと救急も南の方から搬送依頼が搬送時間にご不便をおかけしているかなという気がします。患者さんの増加については発熱外来いわゆるコロナ検査を受け入れてきた患者さんの数が増加しているという感触を持っております。

(村上委員)

実際、コロナが段々と収束に向かっていった時にその先がどうなるのかということについてはいかがですか。

(漆原院長)

当院の役割である高齢者医療に対する受け皿になっているという部分がありますので、

土日、夜間救急車を呼んで運んでほしいという病院の受け皿が比較的近い地域では少ないと聞いておりました、実際辰野町の方が搬送される病院がないということで、こちらに運ばれてくるケースがかなりありますので、当院がこの場所にあったとしても今後5年10年、高齢者の人口は減ってきますけれども、救急入院の受け皿というニーズさえしっかりやっておれば現状よりもどんどん利用者が減るといったことはないのかなという風に思っております。

(金子委員長)

その他の方は、どうですか。

(小林委員)

高齢者医療を中心にお話ありましたが、小児科の医療体制というのはどのようにお考えになっていらっしゃるか。

(漆原院長)

当院の高齢者医療を中心というのはあくまでも入院で、外来に関しては各科のドクターを中心とした診療のキャパシティがどうなっているのかという部分ですが、今の医師が非常に一生懸命やってくれています。内科よりも伸び率が小児科の方がずっと伸びていて、町や周囲のネットワークをうまく利用しながら小児医療に関して取り組んでいきたいが、具体的な例があればご提案いただければと思います。

(金子委員長)

令和4年度町立辰野病院事業決算について、みなさんご承認いただけますか。  
ありがとうございます。承認いただきました。

(金子委員長)

それでは次の項目に進みたいと思います。

(2) 町立辰野病院の運営状況につきまして、説明をお願いいたします。

(中村係長)

資料 No.2 年度別経営状況

資料 No.3 町立辰野病院事業経営状況一覧表 (2023年6月)

上記について説明

(今福経営コーディネーター)

今、繰入金の方の話がありましたけれど昨年度より500万減らしてあります。トータルで考えると去年より減らしてありますので、そこだけご承知おきください。

(金子委員長)

それでは運営状況につきまして説明がありましたが、皆さんからもご質問をお受けしたいと思います。

(舟橋委員)

令和3年度と4年度は収支が5000万を超えるということで、皆さんのご努力に感謝申し上げます。当然ながらここにあるワクチン関係の収益増というのが含まれていると思います。これを拝見するだけではコロナ関係とそれ以外の部分がわからないので、改めてコロナ関係と分けて情報を出していただきたいなと思います。

将来の町立辰野病院の経営状況を見る上ではコロナを除いて今までの医療プラス訪問介護と居宅介護支援のサービスが加わることによってどういうふうに成長していくのかというところを見たいと思うので、その辺の情報をもしこの場である程度わかれば、もし難しいようであれば別途提示していただきたいなと考えています。

(漆原院長)

事務職員とも相談して、概算で出せなくはないと思います。

(今福経営コーディネーター)

一応収入としては去年の1年前の時にも出させていただいた。例えば補助金がいくらあったかやワクチン接種の件数などに関して数字は出すことができます。ただ、診療は切り分けが難しい部分がある。ワクチン接種分は算出可能です。

(舟橋委員)

この収支の推移グラフを作っていただくと、2年度から3年度にバーンと上がって5000万円を超えた。黒字収支が2年間続いて、これは明らかにコロナ関係じゃないかと、すぐに見えるわけですね。それがおよそどのくらい占めていたのかとか、また分かればぜひ教えていただければと思います。

(桑原事務長)

議会や委員会審査の時には、コロナで分かる範囲の数字はワクチン接種の費用とか、その範囲の補助金とか、そういうのを話したいと思いますが、診療にかかった分というところではちょっと難しいのかなと思いますのでお願いします。

(金子委員長)

それでは次回の委員会の席で提示していただくか、それか議会の委員会審査に間に合え

ば参考資料を出していただければと思います。よろしくお願いいたします。

(漆原院長)

この辺の経営状況の見通しについて、昨年度一昨年度のコロナ関連はとにかく患者数の増加が非常に大きかったこともあります。それと入院の重点医療期間の補助金がかかり入ってきているのと、一昨年度のコロナワクチンを始めた年は土日もやったりしてそういった収益もありました。

ところが今年度はコロナもそれなりに落ち着いてきたうちに、病床利用率が低く、これは近隣病院や全国的に病床利用率がかなり下がっているようです。今のところ 8.5%減になったんですけど、年間で 8000 万とか 1 億円とかの減収となり、今年度は相当厳しいと私どもは見ておりますので、対策については利用率を上げていくしかないんですけども、うちの病院だけではなくて、他の病院も頭を痛ませているところではないかと感じております。来年のこの時期ではかなり厳しい数字を説明しなくてはいけない状況になるんじゃないかなということを危惧しております。

(金子委員長)

ありがとうございました。

それではこの後、相対的に質問をしますので、この運営状況の報告については一旦終了させていただきます。

### (3) その他

#### ・公立病院改革プラン点検報告について

それでは (3) その他の部分で公立病院改革プラン点検報告について事務局から説明をお願い致します。

(中村係長)

資料No.4 町立辰野病院改革プラン 令和4年度報告  
上記について説明

(金子委員長)

資料 No.4 の説明がありましたが、関係者に質問をしたいと思います

(古村委員)

繰入金の数字は決算に入っているか。

(中村係長)

決算書の収益の部分には入っております。令和4年度は、4億円入った上で決算額が23億9400万円ほどというようなことになっております。

(金子委員長)

はいその他のご質問なければ、その他のその他で事務局ありますでしょうか。

・町立辰野病院経営強化プラン概要案について

資料 町立辰野病院経営強化プラン概要案

上記について説明

(金子委員長)

このプランにつきましてご質問ございますか。

(赤沼委員)

冒頭で院長先生の方から、継続的な医師不足に対する対応を取っていきたいというが、役場の方でも医師確保のための特任職員を設けてスカウティングをされたと思うんですけど、現在何人くらいのどういうドクターをどういう体制でスカウトしているのか。

(漆原院長)

数年前から信州大学の地域医療推進学教室と連携させていただいて、いわゆる信大医学部の中の医学生の中に地域枠というのがあるんですね。この地域枠というのは奨学金を学生に貸与する代わりに、卒業してお医者さんになった後にある程度の年齢までは長野県内の地域の病院で働いてくださいという枠がありますので、こちらに継続的に派遣いただくという契約関係のある程度結んでありまして、現状は数年前から1名だけだったんですけど、大学の方の配慮で2名今出させていただいており、加えて信大の医学生の地域実習というのをやっています。

(今福経営コーディネーター)

補足説明ですが、医師の確保というのはものすごく大変で院長が言いましたように、やっとな県の就学資金貸与医師の複数名これる体制ができました。人材バンクなども各社投げかけをしてもありますがうまくマッチングできて定着してくれる方である可能性は非常に低いです。

(金子委員長)

それでは相対的に質問等を受けたいと思います。

(今福経営コーディネーター)

今一番最後に出しました。この経営強化プランの案なんですけれど、前回の公立病院の改革プランの時はこの国の指標は統合して再編しなさいというのがメインでした。ところが今度このコロナが発生し、今回は連携と国の方の言い方も変わりました。なおかつ感染症というところの2つ加わって、うちの病院はこの病院が建った時にほぼほぼ連携という取り決めができた病院ですので、そんなに前と大きく変わるということはないと思っております。今後は近隣の病院との連携を活かしながらと思っておりますのでご了承ください。

(金子委員長)

はいそのほかの関係で皆さんからはどうですか。

(山田副委員長)

緊急で救急車を呼んだ方の話ですが、救急車来ても1時間経っても動かないんですよ。この地域の他所の病院との連携がうまくいってないということですよ。確かに休みだから医者先生たちも少ないと思います。病院同士での連携をうまく取って受入れ体制をしっかりしてもらえればいいなと思いますけれど。

(漆原院長)

どういう例か、調べてみたいと思います。基本的には辰野救急の要請を基本的に断りすることなく受けるというスタンスでやっています。受けられないという理由としては特に夜間、休日では例えば骨折が明らかであるとか、あと小児の救急とかです。

なぜ受け入れなかったのかという経緯を調べないと、ちょっと何とも言えない部分があります。

(金子委員長)

会議終了後にお話しをさせていただきたいと思います。

その他質問はどうでしょうか。

(古村委員)

今のことに関連してですが、もちろん医療、何のためにあるかといったら、それは皆さんの地域の健康のためにあるわけで大前提として、全部が全部受け入れることは無理ですよ。365日、24時間多分、電波がつながるし、連絡をして調整をしますとも、必ずしも全てのことをできるわけではない。この地域は都市部からすると受け入れがすごくいいと思います。上伊那ってめちゃくちゃ救急車の受け入れが良いと思います。

(金子委員長)

その他どうでしょうか。

それではこれまでの協議事項をすべて終了いたします。

それでは閉会の言葉をまた副委員長をお願いいたします。

(桑原事務長)

慎重に大変ありがとうございました。

それでは閉会の言葉を山田副委員長お願いいたします。

(山田副委員長)

辰野病院運営委員会を終わらせていただきます。

お疲れ様でした。

ありがとうございました。